

2021年2月19日(金曜日)の下野新聞に 地震被災地への支援について掲載されました!

那須塩原のパン・アキモト 地震被災地に パン送り支援 缶詰を計1233個



被災地に届けるパンの缶詰を段ボール箱に詰める作業

【那須塩原】13日深夜の地震の被災地を応援しようと、東小屋のパン製造販売「パン・アキモト」は18日、福島県相馬市の相馬キリスト福音教会へパンの缶詰1

233個を送った。パンは同教会から、震度6強を観測した同県新地町と、隣接する宮城県山元町へ届けられる予定。

同教会から支援を要請された非政府組織(NGO)日本国際飢餓対策機構が、同社に依頼した。非常食の備蓄や断水する地区の食事などで活用してもらおうという。

支援は、同社が2009年から行う「救缶鳥プロジェクト」の一環。企業や学校などに販売した非常食用のパンの缶詰を賞味期限が切れる約半年前に回収し、飢餓や災害で苦しむ国内外の地域へ届ける。今回は東京都世田谷区駒沢中などから集めた缶詰計1233個(1818食分)を、空気漏れなどを検査した後で段ボール箱に詰めた。

車で現地まで配達した同社の秋元信彦専務(41)は「困った時はお互いさま。応援する気持ちも届きたい」と話した。(野中美穂)